

# 第1学年 図画工作科 学習指導案

題材名：「びりびり くしゃくしゃ うまれたよ」

- 1 日 時 平成28年11月25日（金）
- 2 学 年 第1学年1組 男子6名 女子6名 計12名
- 3 場 所 第1学年1組 教室

学校教育目標

「自ら伸びる」児童の育成

## 【みる・かく・つくる】

手で紙をちぎったり丸めたり、貼り方を試したりすることを通して、紙の感触に気付き、紙の色やいろいろな形、触感などから想像を広げ、表したいものを素直に表現することができる。

de

## 【人づくり】

友達と造形遊びや作品づくりを楽しんだり、できた作品を見合ったりすることを通して、協同する楽しさに気付き、自らのイメージを膨らませ、楽しく表現する力を身に付ける。

## 題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作の第1学年及び第2学年、A表現（2）「イ好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。」「[共通事項]「イ形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。」に重点を置いている。

無造作にちぎられた紙の形や色などを基に、様々に向きを変えることで想像を膨らませ、自分なりのイメージをもち、いろいろな見方ができる楽しさを味わうことのできる題材であると考え。また、紙によって感触の違い、質感の違いを楽しみながら何かに見立てていくことのできる題材でもあると考え。見立てる活動を通して、思考を働かせながら新たな発想を生み出し、自分の見方を広げ、発想や構想の能力を高めることができると考える。さらに、見方の交流を通して、鑑賞の能力も高められる題材である。

## 児童の実態について

本学級の児童は、普段からものをつくったり、絵をかいたりすることが好きな児童が多い。また、そのつくったものやかいたものについての物語を友達や教師に話すことが好きな児童も多い。4月から5月にかけて行ってきた図画工作科での授業では、色鉛筆、パス、カラーペン、コンテなどの画材を使い、できた色の美しさを楽しんだり、重色や混色を楽しみながら色を塗ったりする様子が見られた。

1学期に学習した「あつまれ！ひかりのくにのなかまたち」では、造形遊びを通して、児童はセロファン等の透過光や反射光の様子を楽しみ、その美しさを生かしながら自分なりのイメージを膨らま

せて作品をつくることができた。いろいろな色や光の当たり方を試す中で、そこから見立ててひかりのくにのなかまたちをつくった。イメージが次から次へと広がり、一つの作品からいろいろな活動が進む児童も多くいたが、なかなかイメージが膨らまず、活動が停滞してしまった児童もいた。

## 指導（「みる」・「かく」・「つくる」）のポイント

指導に当たっては、学習に入る前に材料集めの際に児童自身が包装紙等の紙を自分達で集めておき、第1次の学習で様々な紙の感触の違いを感じられるようにする。第1次の学習では、様々な色・質の紙をちぎったり、折ったり、固めたり、ねじったりしながら紙の感触を十分に楽しむことができるようにする。この活動でできたものを材料ボックスに入れておき、いつでも、誰でもすぐに使えるようにしておく。

第2次では、いろいろな形の紙から想像を膨らませて作品をつくっていく。この時に、様々な方向から紙を見たり、同じ紙から違う物をイメージしたりできるように、全体で一枚の紙からイメージを交流する。イメージを広げにくい児童が友達の意見を聞きながら、物の見方や感じ方を広げていけるようにする。そして、いろいろな形の紙からイメージしたものを色画用紙の上に表現できるようにする。ここで、自分のイメージにあった色画用紙を選択させ、自分なりの表現の工夫ができるようにする。



## 題材の目標及び評価規準

### 【題材の目標】

- 紙の感触を楽しんだり、貼り方を楽しんだり、試したり、いろいろな形の紙からつくりたいものを見つけたり、考えたりすることを通して、思い付くことができる。

### 【評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・紙の感触に気付き、表現する活動を楽しんでいる。	・自分の感触を大切に、紙の色やいろいろな形、感触などから想像を広げ、表したいものを思いついている。	・自分が表現したい感じを工夫しながら、紙を洗濯のりで台紙に貼っている。	・紙の色や操作してできた形、感触などのおもしろさに気付いている。

# 指導と評価の計画

(全4時間)

次	学習内容	評価の観点				評価規準 (評価方法)
		関	発	創	鑑	
1 (1)	・紙の色や感触を楽しみながら、ちぎったり折ったり、丸めたりする。	◎				・それぞれの紙の感触の違いに気付き、表現する活動を楽しんでいる。 (発言・行動観察)
2 (2)	・ちぎったり折ったり丸めたりした形や色、感触、音から想像を広げ、表したいものを思いつき、台紙に貼る。 2 / 4 (本時) ・貼ったものや友達の見方からさらに想像を広げ、台紙につけ加えていく。		◎		○	・自分の感触を大切に、紙の色やいろいろな形、感触などから想像を広げ、表したいものを思いついている。 ・自分が表現したい感じを工夫しながら、紙を洗濯のりで台紙に貼っている。 (発言・行動観察・作品)
3 (1)	・できた作品を友達に紹介したり、友達の作品のよさを見つけ、伝え合ったりする。				◎	・紙の色や操作してできた形、感触などのおもしろさに気付き、友達の作品や自分の作品のよさを伝え合っている。 (発言・行動観察)

## 本時の学習

### (1) 本時の目標


紙の色やいろいろな形、感触などを楽しみながら想像を広げ、つくることを通して自分が表したいものを思い付くことができる。


### (2) 準備物

(教師) 包装紙、お花紙、色紙、色画用紙、洗濯のり、液状のり、深めの皿、タオル、材料ボックス、振り返りシート

(児童) 汚れても良い服、包装紙

(3) 本時の学習展開

学習活動	◇指導上の留意点 (◆Cと判断される児童に対する手だて)	評価規準 (評価方法)
<p>1 材料ボックスを確認し、材料が何に見えるか出し合う。</p> <div data-bbox="193 434 667 734" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>本当だ！でも、私は花火みたいにも見えるな…</p> </div> <p>2 材料ブラックボックスをする。</p> <div data-bbox="169 1099 608 1317" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>みなさんの材料ボックスの中から、何に見えるかな。と考えてみました。そして…</p> </div> <div data-bbox="153 1346 655 1473" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>どうなるのかな？</p> </div> <p>3 本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="188 1570 1406 1666" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>びりびりくしゃくしゃしたかみをつかって、〇〇ひろばをつくろう！</b></p> </div>	<p>◇材料ボックスから前時でできたいろいろな形の紙を見せ、何に見えるか出し合わせることで、イメージを広げられるようにする。</p> <div data-bbox="660 495 1059 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="1002 584 1437 763" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>このくしゃくしゃの色紙を見て、私はお花の形にみえました。</p> </div> <p>◇紙を様々な方向に向けていろんな角度から発想できるようにする。</p> <p>◆イメージが膨らみにくい児童が、友達の発言を聞きながら発想が広げられるよう出し合う時間をしっかりとる。</p> <p>◆材料ブラックボックスをすることで、これから何をするのか、見通しがもてるようにする。</p> <div data-bbox="608 1205 858 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="890 1189 1150 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="1150 1144 1453 1323" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>他の材料も使って、海の中をつくってみました。</p> </div> <div data-bbox="852 1391 1426 1547" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>わたしはどんなものをつくらうかな。</p> </div>	<p>・紙の色やいろいろな形、感触などから想像を広げ、自分が表したいものを思い付いている。(発言)</p>
<p>4 自分のイメージの色画用紙を選び、見立てたものから〇〇を</p> <div data-bbox="197 1800 571 2078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>	<p>◇洗濯のりの使い方について確認する。</p> <p>◇安全に活動できるように、場所の確保しておく。</p> <p>◇貼り進めていきながら「〇〇みたい」という見立てを行わせ、作品のイメージを膨らませられるようにする。</p> <p>◇友達の作品からも発想を広げられるように班机にして学習を行う。</p> <p>◇同じ班の友達の作品を見ながら、作品のイメージを自由に話ができる雰囲気</p>	

<p>つくる。</p> <p>各班に材料ボックス、お花紙のボックスを用意しておく。教室の真ん中には、画用紙や折り紙、自分たちで色を塗った紙などのコーナーをつくっておき、好きな時に好きな材料をとれるようにしておく。</p>	<p>中で学習を進められるようにする。</p> <p>◆机間指導をしながら、児童それぞれの作品のよさについて、色や形の特徴を認め、自信をもたせるようにする。</p> <p>◇洗濯のりをつけすぎた場合はタオルで押さえて吸い取らせるように声かけを行う。</p> 	<p>・自分が表現したい感じを工夫しながら、紙を洗濯のりで台紙に貼っている。(発言・行動観察)</p> <p>お花畑のようにしたいな。お花をふわっとさせたいな。</p>
<p>5 自分の作品に題名をつける。</p>	<p>◇自分の作品に題名をつけさせることで、自分のイメージを友達に伝えられるようにする。</p> <p>◆作品の題名をつけにくい児童には、紙が何に見えて、どんな作品をつくっているのか話をするように声かけをする。</p>	
<p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇どんな作品ができたか色や形、表し方について友達に紹介し、友達の作品のよいところを見つけられるようにする。</p>	
<p>○ この部分の色が〇〇に見えたので、〇〇をつくった。</p> <p>○ 〇〇さんの〇〇の形がおもしろいなと思った。</p>		
<p>7 次時の活動を知る。</p>	<p>◇さらに付け加えたり、友達の作品をじっくり見たりする活動をすることを伝える。</p>	

【◎成果と●課題】

- ◎導入で、見立てを行った児童の意見の交流や、ブラックボックスで教師自身の見方を紹介することで、見直しをもって学習を行うことができた。
- ◎これまで、なかなか見立てが難しかったり、発想が広がらなかつたりした児童が、自分の思いをもち、すぐに活動を行うことができた。
- ◎操作の方法（紙を破る・丸める・重ねる等）を色々出し合い、方法を確認することで、一人一人の児童が色々な操作方法を使って表現することができた。
- 活動の場をもう少し余裕をもって設定する。
- ワークシートにゆっくり書く時間があまり取れなかつたので、導入の時間を短縮し、後半の時間がしっかりとれるようにする。
- 最初から自分の思いをもって作品をつくりながら発想をする児童、友達の様子を見て発想する児童と様々なので、評価の幅・余裕をもって指導する。